

# 津軽ダムが水不足に悩まされ続けた津軽平野を潤しました

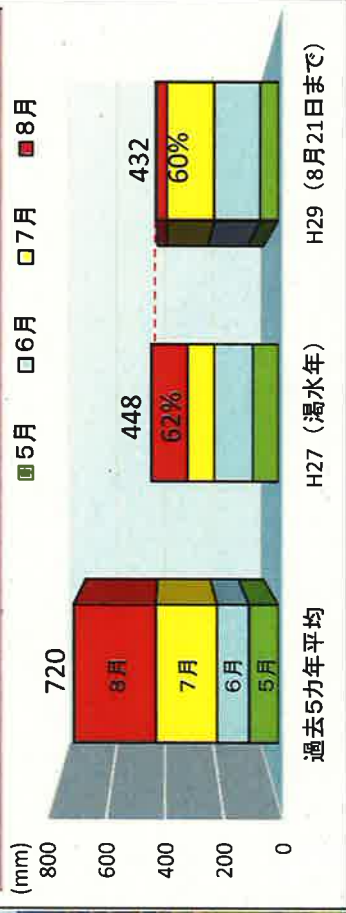
岩木川ダム統合管理事務所

- 今年4月に管理に移行した津軽ダムの流域は、この夏、平年に比べ少雨となりました。
- 岩木川は全国の一級河川の中でも流域面積に占める農地の割合が非常に高い川であり、津軽平野と呼ばれる広大な穀倉地帯は必要とする水量も多いため、幾度も水不足に悩まされてきました。
- 平成29年は津軽ダムにより、かんがい用水、水道用水、河川環境に必要な水量を、少ない雨の中でも十分に補給することができました。

津軽ダム



平成29年 津軽ダム流域の降雨状況 (5月～8月)



平成29年5月から8月までの総降水量は平年を下回り、8月21日までは渇水だった平成27年(448mm)とほぼ同じ降水量(432mm)でした。

広大な穀倉地帯である津軽平野



津軽平野は日本有数の穀倉地帯であり、津軽ダムでは9,600haにかんがい用水を供給しています。

岩木川流域は幾度も水不足による被害が発生していました。 ※写真は平成27年度



川底が露出(弘前市向外瀬地区)



用水不足状況(杭止堰幹線用水路)

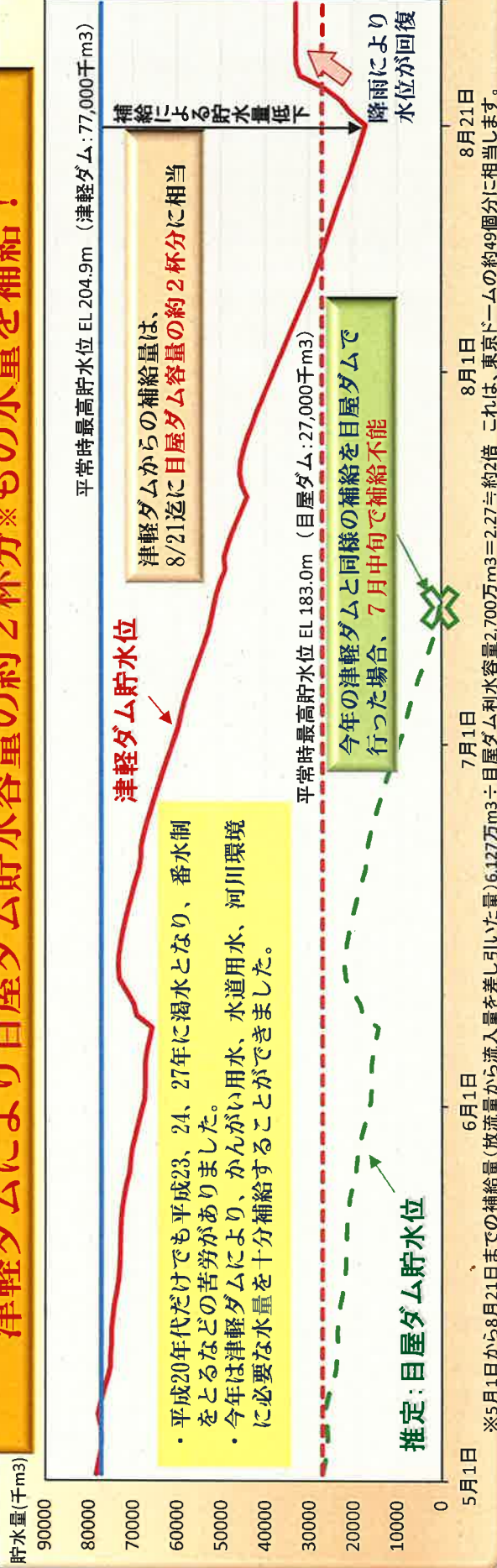


水不足による田割れ

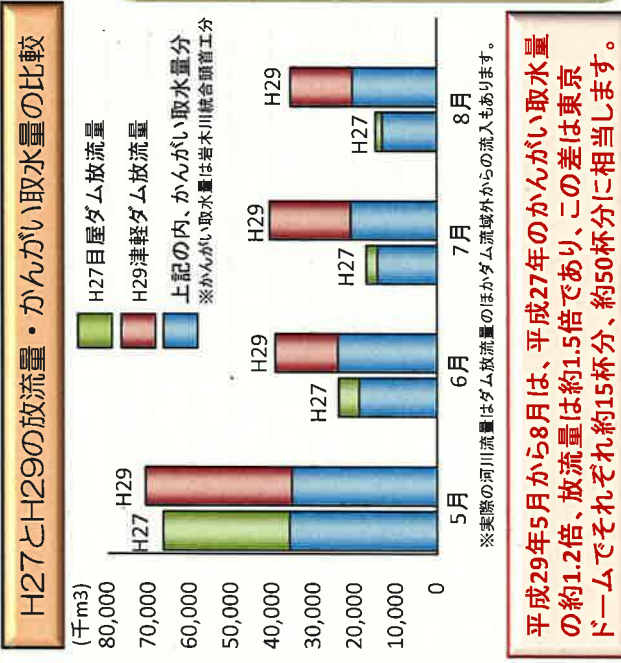
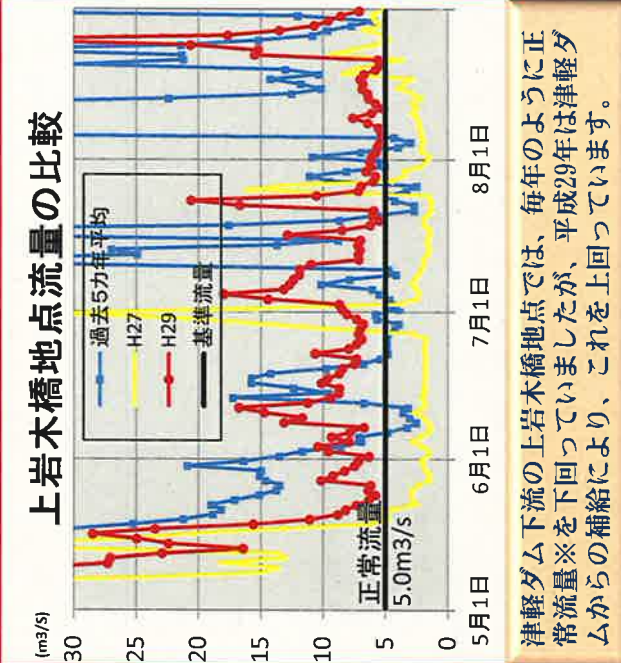
# 津軽ダムとして初めて迎えたかんがい期に十分な効果を発揮

岩木川ダム統合管理事務所

## 津軽ダムにより目屋ダム貯水容量の約2杯分※もの水量を補給！



・平成20年代だけでも平成23、24、27年に渇水となり、番水制をとるなどの苦勞がありました。  
 ・今年には津軽ダムにより、かんがい用水、水道用水、河川環境に必要な水量を十分補給することができました。



### 地元農家の声

(H29.8 ヒアリング結果)

- 田植え後の除草剤散布時期に降雨量が少なかったと思われたが、用水は十分に確保された。
- 7月の中干し明けに気温が低く、深水管理が必要な状態だったが、用水は十分に確保され今年まででない安心感があった。
- 例年であれば番水制も危惧されたが、そのような事態にならず、津軽ダムの恩恵を強く感じている。
- 上岩木橋付近の河川(岩木川)の状況も今ままでより水量が多く、景観も良いと思われる。

※正常流量: 動植物の保護、漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮して定める維持流量、および水利流量から成る流量で、低水管理上の目標となる流量。

# 津軽ダムによる効果について

樋の口(ラバーダム)取水状況



平成27年7月時点



平成29年6月時点

## 関係者の声

### 水道事業管理者

- ・目屋ダム運用時は、煩雑に濁水が発生し、毎年のように水道用水の取水について制限されていた。
- ・津軽ダム完成後は、例年より少ない雨に対しても安定した水が供給され、**岩木川から必要な水量の取水が可能となりました。**
- ・津軽ダムの環境保全措置により、増水時の水の濁りは大幅に低減されており、**安定した浄水処理が可能となった。**
- ・また、**濁水期においても安定した水量が確保されたことで、水温や異臭味物質濃度の低下など水質が改善されました。**

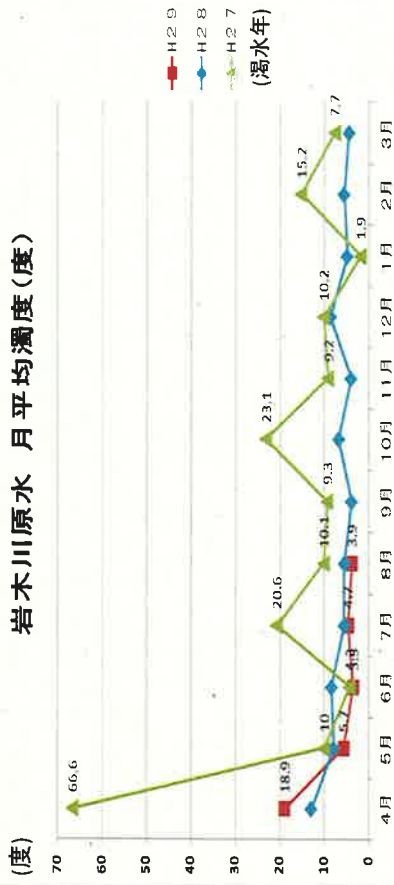
### 流域の町会

- ・増水の危険性が少なく、安心して広場を使用できるようになった。
- ・**濁水期は水が澱んでいたが、現在は常時、きれいな水が流れて環境が良くなった。**

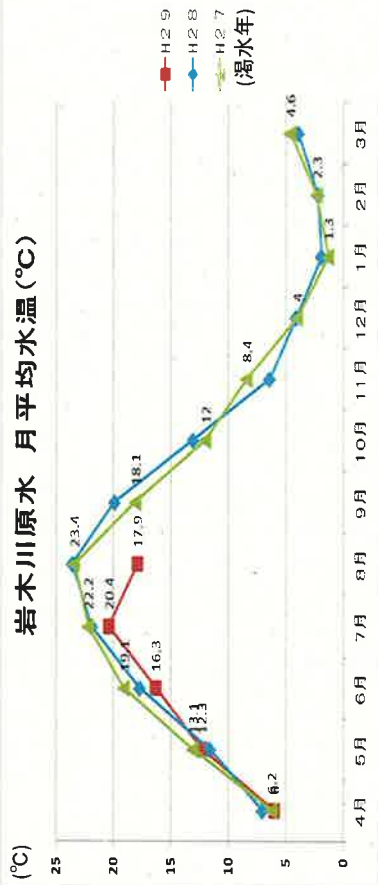
## 津軽ダム完成後の効果

- ・**必要な水量を安定して取水できることが可能となった。**
- ・**岩木川の濁りも低下し、安定的な浄水処理が可能となった。**
- ・**流域の水環境が大幅に良好となった。**

岩木川原水 月平均濁度(度)



岩木川原水 月平均水温(°C)



(弘前市上水道施設課調べによる)